

Morimoto Takayuki
森元 貴之

ー建築の価値とはその空間に音楽性があるかどうかであるー
”創”は自然をテーマとしたオペラ的一篇であり、”創”の空間操作によってオペラはイメージから現象として表出される。これにより自然への認識は再篇される。変化すべきは都市の形態ではなく人々の識である。そこに必要なのは識の数。マストランジットの集積によって形成された近代の都市がこれに対して高い依存を以ている。故、”創”は識の数が最も期待できる場、Terminalに於いて上演する。

